

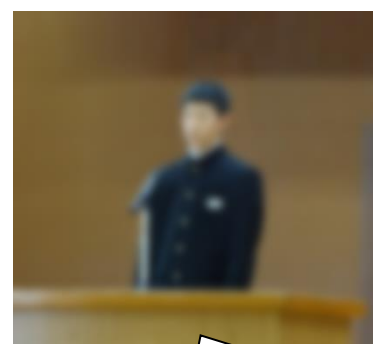
3学年だより

第24号

出雲崎中学校 3学年

学習発表会

21日の学習発表会には大勢の方からお越しいただきありがとうございました。実行委員を中心に練習を重ね、コンクール当日が近づくとつれ、クラス全員で息を合わせ歌を作り上げていく様子が見られました。合唱コンクール当は、最高学年らしい合唱を披露することができ、このように歌を表現できるようになったのだと成長を感じられ胸が熱くなりました。中学生だからこそ経験できる、最高の思い出の日になったと思います。



小川君の意見発表。出雲崎の伝統行事を題材にし、みんなに獅子舞の素晴らしさを伝え、参加を呼びかけていました。



来週の予定

11月	曜	1限	2限	3限	4限	5限	6限	下校予定	行事等
30日	月	社会	国語	数学	英語	保体		17:45	教育相談
31日	火	国語	数学	理科	社会	総合	総合	17:45	教育相談、歯科検診
1日	水	学活	理科	技術	英語	国語	保体	16:35	
2日	木	理科	保体	音楽	社会	道徳	数学	17:45	週末課題(数)
3日	金	文化の日							

認知症サポート養成講座

24日に、町の福祉施設に勤める方から講師になっていただき、認知症サポート養成講座が行われました。認知症の正しい理解と、認知症になった方への対応の仕方を学びました。後半は、どのような声かけがよいのかグループで話し合い、実際に演じてみました。講師の方からは、「やさしい声かけの仕方、高齢者の方は喜ばれると思う」などお褒めの言葉をいただきました。



生徒の感想

認知症の人は分からないことが増え、不安になることが多いから不安を解消して安心を与えることが大切だと思いました。私たちは、認知症の進行を防ぐために、おじいちゃんおばあちゃんの普段の行動を見守ることや声かけをすることができるので、自分たちでできることをして、「認知症になっても大丈夫」と言える社会を作り

今日の授業を受け、認知症の人のことについてもっと考えなければならぬと感じました。今日の授業で新しく知ったこともあれば勘違いしていたこともいくつかありました。ただ、高齢者の方のために何かをしてあげるのではなく、一緒になって考え、高齢者の方が自分で何かをできるようにサポートしてあげることが大切だと

認知症の人は自分でやりたいと思っても、思い通りにならなくてもどかしさや苦しさを感じていることが分かりました。だめな部分をせめるのではなく、温かく見守りできないことがあったら少し手を貸してあげることが大切だと思いました。認知症はいろいろ大変だろうなと思っていたけど、本人は何もかもできないわけではなく、一番苦しんでいるのは本人自身なんだと学んだので、施設訪問の時に生かしたいと思います。

未来の夢講演会

24日に行われた未来の夢講演会は、小林さやかさんがお話してくださいました。慶応大学に現役合格した経験を踏まえて、不可能を可能に変えるための5つのコツをお話していただきました。話から、自分の目標に向かってやり遂げようとする気持ちの強さを感じました。(生徒の皆さん、5つのコツのうち1つでも実践すると何かが変わると思いますよ。)

